

帯広 横断中の男性はねられ死亡

信号機や横断歩道はなかった

[2014/9/4 13:46]

帯広市の道道で、4日午前3時半すぎ、道路を渡っていた男性がオートバイにはねられる事故があり、男性は病院に運ばれましたが死亡しました。事故があったのは帯広市西18条南4丁目の道道で、道路を西から東に横断していた男性(61)が右からきたオートバイにはねられました。事故が起きた現場には信号機や横断歩道はなかった。

9月は、夕暮れ時の歩行者事故に注意

日没時間が早まります。夕暮れから夜間にかけて、交差点での歩行者事故が多く発生

- 道路を横断しようとしている、歩行者・自転車がいることを前提とした、予測運転を
- ライトをこまめにハイビームに切り換え、歩行者・自転車の早期発見
- 特に、右側から横断してくる、歩行者・自転車に注意

ヒヤリ・ハットの経験を思い出そう！

◆足元はもちろん、積卸作業時の安全確認◆

バック時は 降りて確認 乗っても確認

交差点 「右左確認／よ～し！」

苫小牧 交差点、路線バスと乗用車衝突

バスが、会社寮に突っ込む

(2014/09/05 16:00)

【苫小牧】5日午前9時5分ごろ、苫小牧市明野新町4の市道交差点で、乗用車と路線バスが衝突。はずみで乗用車は歩道に乗り上げ、路線バスは交差点脇の石油関連会社の社員寮の玄関に突っ込んで停車した。乗用車に乗っていた高齢の男性が首の痛みを訴えて病院へ搬送された。バス会社によると、バスには、乗客1人と男性運転手にけがはなし。社員寮でもけが人はいなかった。現場は信号機のある交差点。苫小牧署が事故原因を調べている。

トラック運転手、「事故を起こしたバスを見ていたらぶつかった」

わき見運転 同じ場所で再びトラックなど車3台が絡む玉突き事故

そしてこの事故のおよそ3時間後。同じ場所で再びトラックなど車3台が絡む玉突き事故が発生。けが人はいませんでした。衝突したトラックの運転手は「事故を起こしたバスを見ていたらぶつかった」と話し、わき見運転していたことを認めています。

タクシーが突然バックし、乗客をはねた

謎の事故の原因は、運転手の「悪い癖」

産経新聞 9月4日(木)12時0分

タクシーを誤って後方に急発進させ、降車したばかりの乗客をはねて死亡させたとして、自動車運転過失致死の罪に問われたタクシー運転手の男(53)の初公判が8月上旬、大阪地裁で開かれた。運転手は乗客をはねた後もスピードを一切緩めることなくガラス壁に衝突。「人が挟まっているぞ！」と騒然とする周囲の声も理解できず、運転席でただ呆然(ぼうぜん)としていた。当時、運転手歴わずか2カ月。シフトレバーが「バック」になっていたのが直接の原因だが、その背景として、降車時にシフトレバーを「パーキング」にしないままサイドブレーキをひいて停車する“悪い癖”があった。

横断中、4トントラックにはねられ重体

2014年9月4日(木)13時41分

3日午後10時ごろ、横浜市の国道で、歩いて道路を渡っていた近くに住む男性会社員(38)が、右から走ってきた4トントラックにはねられて頭を強く打ち、意識不明の重体となった。警察によると、現場は片側2車線の直線道路で、4トントラックは追い越し車線を走っていた。同署は、過失運転致傷の容疑で、4トントラックを運転していたの自営業の男性(62)から話を聴くなどして、当時の詳しい状況を調べている。